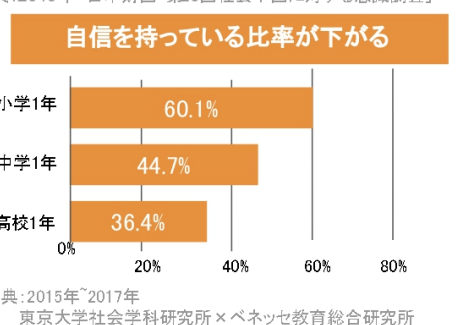
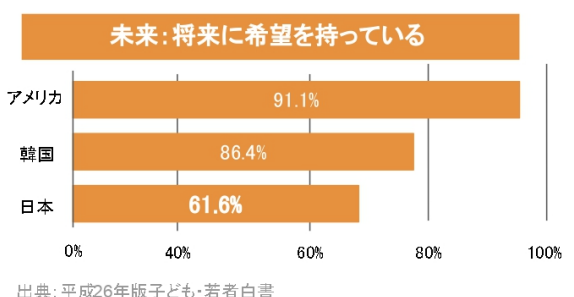
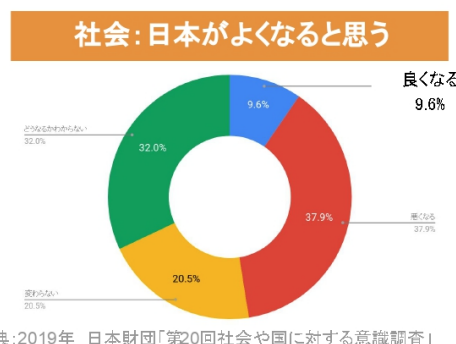
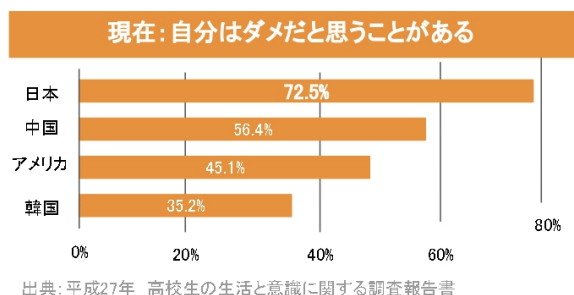


2022年度_事業計画書

1. 取り組み

1. 課題感



日本の子ども若者は、自己肯定感が低く自分のことがダメだと思っています。また、将来に希望を持たず自分を取り巻く社会もよくなると思えていません。日本の子ども若者は「ある日突然、自己肯定感が下がるのか。」そうではなく小学生から学年が上がるにつれて自己肯定感が段々に下がっていきます。

2. 目的

災害や少子化、及び過疎化などの影響により異世代間交流の機会が少ない子どもたちに対し、積極的な交流活動を行うことで、子どもたちの社会性や対人関係能力を育成し健全で心豊かな成長に寄与すること、大学生自身が子ども達との交流を通じて誰かのために何かしたいと思う気持ちが具体化されて自己実現に向かうことを目的とします。

3. ビジョン

「自分の人生を1からデザインする楽しさであふれる社会」の実現

これまで、偏差値の高い大学に進学し大企業に就職すれば年功序列で賃金アップ、終身雇用で定年を迎える。家や車を買ひ、子どもを育てることが幸せな人生である。とごく一部の作られた人生の型を誰も疑う事はありませんでした。しかし、これだけ世の中は課題で溢れ、ネットが普及した今の世の中で上記の人生モデルも完全に消え、同時に「自分の存在意義」がわからない！子どもや若者が増えてしまっています。これからは、どうしたら稼げるか、安定した暮らしが手に入るのかという「他者軸」の生き方選びではなく、自分がどうしたいのか、どのような人として生きていきたいのかを考え、「自分軸」を持って生きていくことが幸せな人生だと定義しています。

そのため、一般社団法人ことばでは、日本中の子ども・若者が『この人生でよかった!』『生まれてよかった!』と笑い合っている社会、つまり、「自分の人生を1からデザインする楽しさで溢れる社会の実現」を目指します。

4. ミッション

子ども・若者に『自分の想いに気づき、伝え、実現する場』を提供する。

インターネットの普及により気軽に他人の意見に触れられる機会が増加し、一方で自分の考えを整理する機会が減少してしまいました。そんな時代だからこそ、若者を対象に 私たちは人との対話や交流を通して原体験を振り返り、考えを深め「言葉」にし対話する機会を提供することが必要だと考えています。

5. 目標

2022年度も新型コロナウイルスの影響で移動の制限等が発生することが予想されます。このような状況だからこそオンラインで届けられる価値が何かを明確にし、選択と集中で事業に取り組んでいきます。

6. 組織基盤強化

1. マンスリーサポーターとの関係強化

2020年度までに81名の方々にサポーターに就任いただきました。今年度は、81名の方々と密なコミュニケーションを取り、それぞれの方にあった関わり方を提案していきます。また、サポーターの方々のスキルやノウハウを活かして関わる大学生をサポートするサイクルを構築します。

2. プロボノとの関係構築

2021年度は、初めて企業のプロボノ支援を受けました。限られた期間の中で課題を整理し目標をすり合わせて実施していく経験は、継続的に実施することで団体としての組織力強化につながります。そこで2022年度は、期間を限定した個人プロボノを積極的に受け入れていきます。

3. 大学や各種センターとの連携

事業を実施する地域の大学やボランティアセンター、各種支援機関と連携して子どもや教育、地方創生に関心のある大学生にボランティアの機会を提供します。また、集まった大学生同士が参加後も継続的に繋がるための仕組みを構築します。

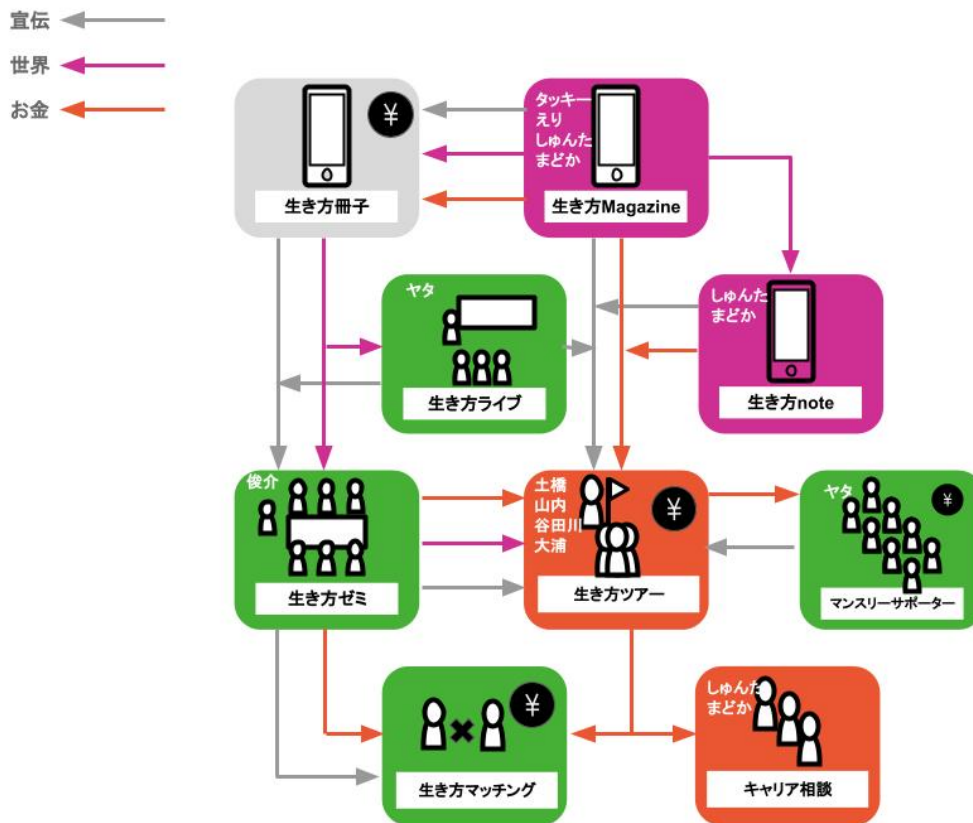
4. 理事の巻き込み

飲食店やデザイン/編集、財務コンサルティング、フリースクール経営など幅広い分野で働いている理事にそれぞれの専門的な視点から意見をもらいます。また、大学生の人生やキャリア相談、インターンの受け入れ等のサポートを行う体制を構築します。

5. 企業や団体との連携強化

当法人だけでは解決できない課題を企業や商工会議所、青年会議所、商店街連合会、学校、NPO、自治体等と組織の枠を超えて協働し大学生の活動機会を提供することで子どもたちを取り巻く課題の解決にも繋げていきます。

2.事業計画



1.ロールモデル提供事業

(1)生き方マガジン

目的：進路に悩む大学生を対象に多様な生き方の選択肢を提供する。

目標：

- 2022年度に30人を紹介し50人を目指す。(1週間に1度の投稿)

対象：

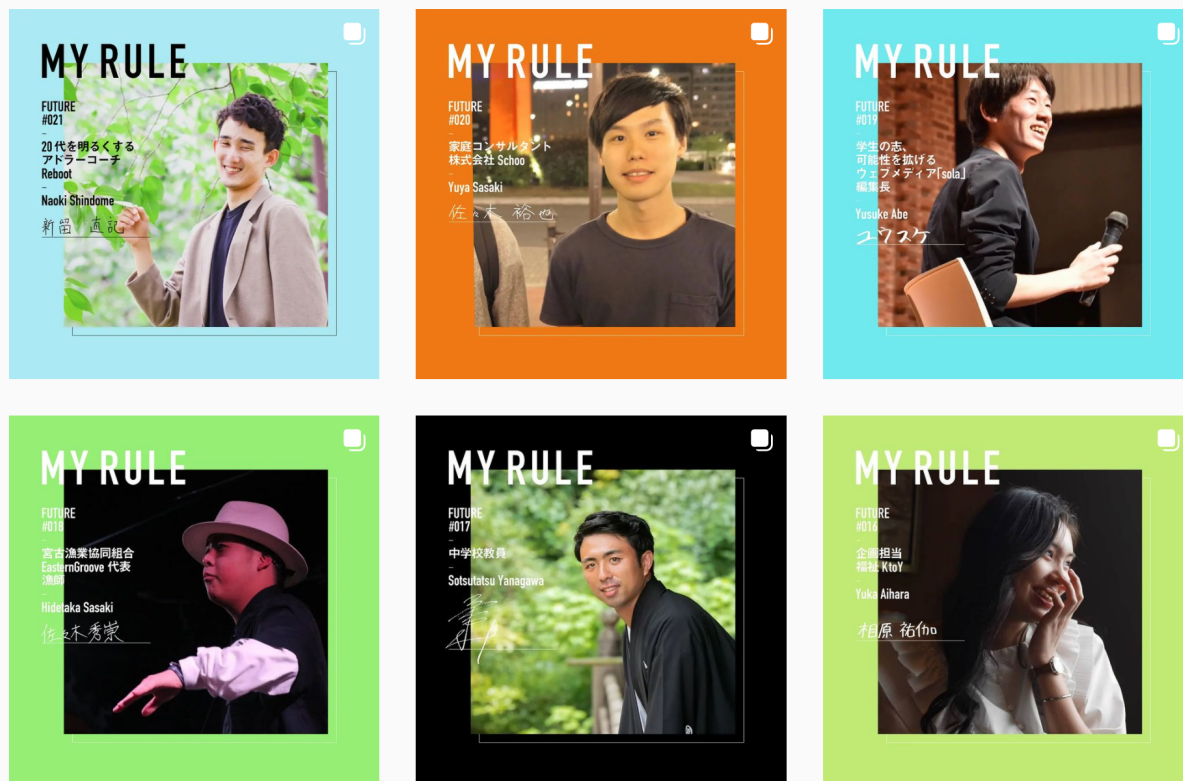
- 自分は何がしたいのかわからない学生
- やりたいことなんてないと思っている学生
- 働きたくないと思っている学生
- 進みたい進路がわからずにもやもやしている学生
- 素敵な社会人との出会いを求めている学生

内容：居住地や職業、性別、世代を超えて素敵な生き方をしている人の「3つのマイルール」に絞って紹介していくメディアとして運営していく。

- noteを活用して3つのマイルールにプラスしてコンテンツを配信

指標：大学生のフォロワー数、投稿いいね数

体制：代表、担当理事、編集長、事務局



(2)生き方ライブ

目的：進路に悩む大学生を対象に多様な生き方をしている人との出会いを提供する。

目標：

- Instagramフォロワー300人（現状122人）
- 生き方マガジン10人ごとにイベント開催（2ヶ月半～3ヶ月に1回）
- 大学生の参加者が都度10名（合計40名）
- 参加者の5割が継続的に参加

対象：

- 自分は何がしたいのかわからない学生
- やりたいことなんてないと思っている学生
- 働きたくないと思っている学生
- 進みたい進路がわからずにもやもやしている学生
- 素敵な社会人との出会いを求めている学生
- マガジンに出ている人の話を聞いてみたい学生

内容：生き方マガジンで紹介された人に「3つのマイルール」を中心に話を聞く

- 今の生き方を選択した理由、今の生き方を選択したきっかけや出会った人
- きっかけとなった場所、悔しかった経験、嬉しかったこと 等

指標：イベント参加者数、Instagramのフォロワー数、DM等

体制：代表、担当理事、編集長、事務局

2. キャリア支援事業

(1) 生き方ツアー

目的：進路に悩む大学生を対象に多様な生き方をしている人とリアルな出会いやその人の生活や仕事を体験する機会を提供することで、大学生のやりたいを見つけ言語化する。

目標：

- 生き方マガジン読者や生き方ライブ参加者が参加が1つのツアーで3人参加
- 登壇者との出会いや仕事等の体験を通じて参加者の感情が動く機会を提供
- 最終日に参加者自身も3つのマイルールを設定
- 今年度中に2回以上の生き方ツアーを企画実践

対象：

- 生き方の視野を広げたい学生
- 誰かのために何かしたい学生
- 学校生活に目的や意味を見出したい学生
- これまでの自分に何か変化を求めている学生
- 熱い想いを持った人と出会いたい学生
- 日常では経験できないことを体験してみたい学生

内容：生き方マガジンで紹介した人の所に行きインタビューや仕事体験、対話、マイルールの設定等

指標：

- ツアー参加者の満足度（参加前後のアンケート調査）
- 団体のSNSをフォロー
- 団体の発信を拡散
- 個人のTwitterやInstagram等で感想や気づきを投稿
- 団体が開催する別のツアーに参加
- 次回のツアーに友人を誘う
- 生き方ゼミに参加

体制：代表、生き方マガジン登壇者、事務局

<p>MY RULE</p> <p>01</p> <p>やりたくないことはしない。 できないことはしない。</p>	<p>MY RULE</p> <p>02</p> <p>しかるべき人に 求められたら 必ず時間を作る。</p>	<p>MY RULE</p> <p>03</p> <p>なるべく多く 鏡を見る。</p>
--	--	---

(2) 生き方ゼミ

目的：さまざまな生き方をしている人との出会いを通じて、単発ではなくて継続的に関わることで自分の好きを具体化する。

目標：

- 2つ以上の生き方ゼミを開始
- 生き方ツアーの参加者が各1名以上
- 生き方ゼミに参加した学生がインターンとして個人や企業に参画

対象：

- 生き方ツアーに参加して登壇者と関わりたい学生
- 一般的な就活ではない生き方に興味のある学生
- 自分の好きで生きていきたい学生

内容：生き方マガジンに登壇した人の生き方や仕事を継続的に体験する。

- インターンとして仕事を体験
- 仕事終了後に交流会を実施
(※合宿等も実施しながら属人的に実施する)

指標：

- 生き方ゼミ参加者数
- 生き方ゼミ満足度
- 生き方マガジン登壇者SNSフォロー
- 個人のTwitterやInstagram等で感想や気づきを投稿
- 生き方ゼミに友人を誘う
- 社会人のマッチング

体制：代表、生き方マガジン登壇者、事務局

(3) 生き方相談

目的：団体の活動に共感している社会人が学生のキャリア相談に応じる

目標：

- 相談可能で多種多様な社会人30名を確保
- 10名以上の学生が実際に社会人に相談
- 相談に応じる社会人のメリットを言語化

対象：

- 生き方ライブや生き方ツアーに参加した学生
- 一度ツアーに参加して言語化したか迷っている学生
- 何から始めればよいかわかっていない学生
- 縦の繋がりが少なく相談できる社会人がいない学生

内容：

- 業界、業種についての相談
- 自己分析の相談
- 書類作成や面談の相談
- 漠然とした人生についての悩み相談

指標：

- 利用した大学生の数
- アンケート回答数
- アンケートの満足度
- 相談に応じた社会人の数
- 相談を実施した社会人のアンケート回答数
- 社会人のリピート率、フィードバック数
- 学生と社会人がSNSでつながる。
- 学生が相談した社会人が働いている企業のインターンに参加

連携：2021年度までにごとばのプロジェクトに参加したOBOG、ことばサポーター、理事/監事 等

体制：代表、事務局



(4)生き方マッチング

目的：生き方マガジン含めて上記全てのプロジェクトに参加した学生を対象に企業とのマッチングを実施する。

目標：

- ビジョンが同じ企業を5社以上募集
- 生き方ゼミに参加した学生と個人/団体/企業とマッチング

対象：

- 生き方ライブや生き方ツアー、生き方ゼミに参加した学生
- やりたいことがわかり言語化された学生
- 本音で話せる企業と出会いたい学生

内容：

- ビジョンが同じ企業との交流会
- 企業のインターンやイベント実施
- 各種生き方イベントの見学

指標：

- 利用した大学生の数
- 参加した企業数
- アンケートの満足度
- 企業とのマッチング数
- 企業からのフィードバック

体制：代表、プロボノ（企業人事担当）事務局